

カメラに搭載するエッジ**AI**アプリと
ナースコールを連携した見守りソリューション

次世代見守りシステム『ウェアセーフ[®] Ver.3.0』のご案内

(ナースコール + ベッドからの転落予兆検知、転倒検知、離床検知など)

July. 2025. 7. 17

株式会社スマートゲート

アジェンダ

1. ナースコール + α

「次世代見守りソリューション（ウェアセーフ[®] Ver.3.0）」

- ①厚労省の看護DX推進事業に採択システム+エッジAI・転落防止
- ②「ナースコール」や「各種センサー」と「エッジAI姿勢検知」の通知を一元管理

ウェアセーフに「エッジAIアプリ」をご利用の場合は、他の ナースコールボタン や 赤外線人感センサー、ドアの開閉センサー等の通知情報と一元管理できます。

2. エッジAIアプリ

「ベッドからの転落防止のために」

- ③高精度な「ベッドからの転落予兆検知」「転倒検知」「離床検知」

◎医療従事者の『働き方改革』：移動距離・訪室回数の削減 → 残業時間の軽減

（体力的負担と精神的負担の軽減）

◎患者のQOL改善：予兆検知から転落防止， 転倒映像から原因と影響特定

◎経営改善（リスク軽減）：転落防止、転倒検知、効率化・コスト削減

1. 『病院スタッフが抱える不安や課題』と『期待される導入効果』

#	病院スタッフが抱える不安や課題	期待される導入効果
1	複数鳴動するナースコールや離床センサーの通知に優先順位付けできず、常に急いで駆け付ける必要がある	AIカメラの通知により室内のカメラ映像を手元の端末で確認できるため、優先順位を判断でき、駆け付けが必須でなくなる
2	離床センサーの発報の空振りが多い	精度の悪い離床センサーでなく、AIカメラにより空振りは激減する
3	常に現地に駆け付ける対応が必要になり身体的な負担が大きい ※夜勤の看護師の移動距離8.1km	(#1と重複)
4	すぐに駆け付けられない状況で、かつ、現場の状況が見えない事による心理的な負担が大きい	AIカメラの映像が手元の端末で確認できるため、心理的な負担は削減できる
5	ベッドからの転落インシデントの防止には有効な手立てが少ない	AIカメラによるベッドからの転落予兆検知は、転落の予兆を検知すると通知が飛ぶため転落インシデントの防止策となる
6	ベッドから転落、転倒した場合も気づかず放置する場合がある／放置される場合がある	AIカメラが転倒検知する為、転倒した状態で放置することも激減できる
7	ベッドから転落または転倒した場合に、打撲・負傷部位の特定が困難である	転落・転倒したタイミングで前後15秒(可変)録画する為、打撲・損傷部位を特定できる
8	加齢性難聴による音声コミュニケーションが難しい患者への対応が訪室必須となり身体的負担が大きい	室内のカメラ映像を手元の端末で確認できるため、優先順を検討でき、駆け付けが必然でなくなり負担が軽減される
9	気の抜けない見守りによる心理的負担が大きい	AIカメラによる常時監視で、「常時緊張」を解消する。看護師のバーンアウト(燃え尽き症候群)指標(MBI)を改善する。
10	夜勤帯は対応人数も少なく巡回業務負担が過大である。	暗室でも使用可能なカメラを使用する為、夜勤帯にも業務負担を軽減できる
11	システム化する場合も個々の機能ごとにシステムを導入する場合はコストが大きく導入できない	姿勢検知・転倒検知・予兆検知はエッジAIにて実現し、また、赤外線人感センサーやドアセンサーは920MHz帯の無線機器を使用する為、既存のWi-Fiとも干渉せず、システム導入コストは、これまでのナースコールシステムの50%から70%削減を目指す

2. 厚生労働省の看護DX推進事業に採択されたシステム + エッジAI

ウェアセーフ ver.1.0

「厚生労働省_これからはじめる看護DX事例紹介」に掲載
<https://www.mhlw.go.jp/content/001478134.pdf>

6.見守り

入院患者の見守り

取組P.36

現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ナースコールでは会話が成り立たない患者のベッドセンサー発報対応訪室の空振りが多発し、看護師の業務負担が大きい 勤務人数が限られている夜間帯のナースコール等への看護師の対応の負荷が大きい 看護師等の見守りによる患者の転倒防止の対策の限界がきている
取組内容	カメラとモバイル端末やスマートグラスで患者を見守り患者対応を予測した看護業務を実施
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ナースコールやベッドセンサー発報後に、ベッドサイドの見守りカメラ映像をモバイル端末やスマートグラスで確認して適切な対応を判断し、安全向上、業務効率化、スタッフのストレス軽減 訪室前に患者の状況を確認できることで看護師が余裕を持った対応が可能



夜勤帯の看護師 (3名で37床) ← (M1075-L 20台)

(姿勢検知なしバージョン)

効果

移動距離: 8.1km から 6.4km へ 22%削減

訪室回数: 16.3回 から 13回 へ 20%削減



ウェアセーフ ver.3.0



iPadと管理者端末をミラーリング

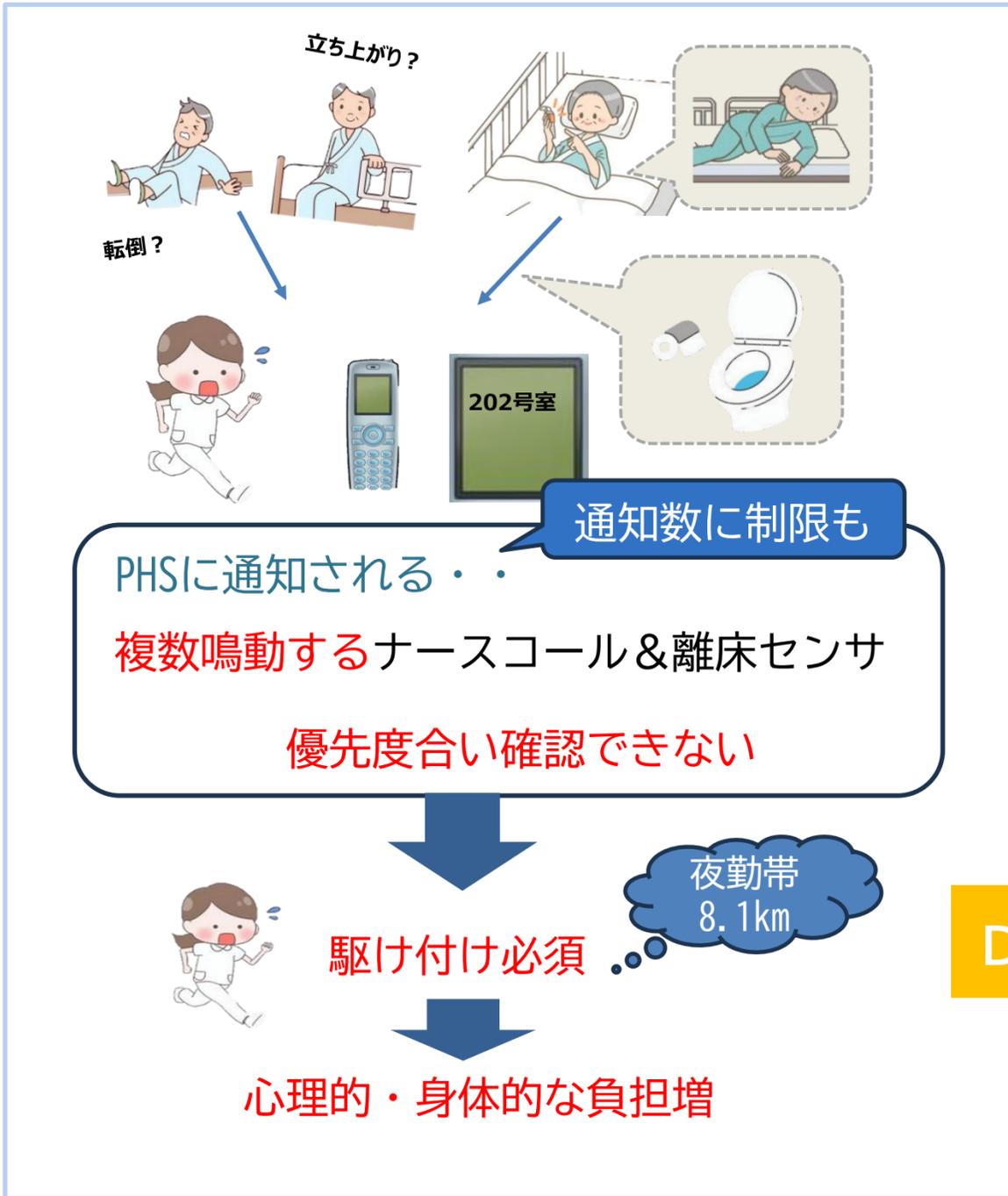
インカムへ合成音声で通知

『202号室で離床を検知』
『103号室でボタン』
『3Aトイレで人感15分』

スマートグラスで画面共有し相談する
または、大画面に表示し相談

3. 従来型「ナースコールと離床センサー」から『働き方改革』DX化

(離床センサ + 従来型ナースコール ボタン)



[次世代ワークフローで業務の非効率を一掃]

(カメラ ~ スマホ + AI検知アプリ)

The diagram shows a next-generation workflow using AI and mobile devices. It includes 'AI姿勢検知' (AI posture detection) with a camera icon and a thought bubble 'どうしましたか?' (What's wrong?). 'モバイル端末へ通知' (Notification to mobile device) shows a smartphone with a call notification. '遠隔から確認' (Remote confirmation) shows a nurse using a handheld device to view a patient's status. 'ビデオチャット相談' (Video chat consultation) shows a nurse interacting with a patient via a video call. A screenshot of a dashboard shows patient status for '101-section1' (患者 太郎) with buttons for 'リハ' (Rehab), '点滴' (IV), and 'マッサージ' (Massage). A text box notes: 'カメラ映像を共有しながらビデオチャット相談' (Video chat consultation while sharing camera footage). A list of benefits is provided:

- AIアプリの自動通知~転落防止
- 駆け付けないで遠隔監視
- 徘徊検知~転倒防止
- スタッフステーションに行かない手元で通知確認
- コールが連続した場合は遠隔監視
- 容易に他のナース・医師に相談~依頼
- ハンズフリーのコミュニケーション



4. 『ウェアセーフ®』：カメラ、スマホ、IoT端末 + AIアプリ の 通知の一元管理

[通知の一元管理による効率化]



[精神的負担の軽減]



[ステータス管理による効率化]



5. 43~86インチ管理端末 (通知~ライブビュー表示/テンプレート発話/登録タグ)

赤枠表示：ナースコール ボタンの押下
青枠表示：カメラのAI検知

①通知によりポップアップしカメラ映像表示

②『詳細』から拡大表示し発話

③『テンプレート』発話機能カメラのスピーカから定型文を発話し会話も

④『登録タグ』を確認

⑤『タグ』を選択~変更

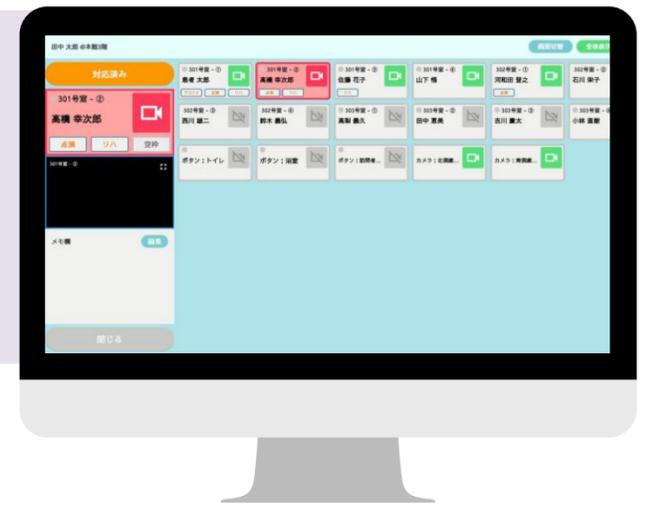
テンプレート再生

どうされましたか?	今行きますね	どうされましたか?	今行きますね
大丈夫ですか?	了解です	大丈夫ですか?	了解です
どうされましたか?	今行きますね	どうされましたか?	今行きますね

どうされましたか?

タッチパネル操作

- ・通知
- ・ライブビュー表示
- ・テンプレート発話
- ・登録タグ



メモ書き

④『登録タグ』を確認

登録タグ

抑制解除 感染 点滴中

未登録タグ

点滴中 今行きますね どうされましたか? 今行きますね

どうされましたか? 抑制解除 どうされましたか? 感染

どうされましたか? 今行きますね どうされましたか? 今行きますね

どうされましたか? 今行きますね どうされましたか? 今行きますね

⑤『タグ』を選択~変更

6. 機器構成例

病室

- ・ AIカメラ（有線LAN）
- ・ ナースコールボタン



看護師

- ・ スマートグラス（WiFi）
- ・ Apple Watch（WiFi）
- ・ iPhone／タブレット・PC（WiFi）



スタッフステーション

- ・ 管理端末タッチパネル
- ・ PC(Windows)（有線／WiFi）



共有スペース（トイレ・風呂）

- ・ AIカメラ（有線LAN）
- ・ ナースコールボタン
- ・ バイタルセンサ（WiFi）
- ・ ドア開閉センサー



共有スペース（廊下）

- ・ AIカメラ
- ・ ナースコールボタン
- ・ WiFi無線AP
- ・ 920MHzボタン用ゲートウェイ
- ・ 920MHzボタン用レピーター



サーバールーム

- ・ 無停止型サーバ（ストラタス）
- ・ コアスイッチ
- ・ PoEスイッチ

7. 『ウェアセーフ®』の『ナースコール』とは：

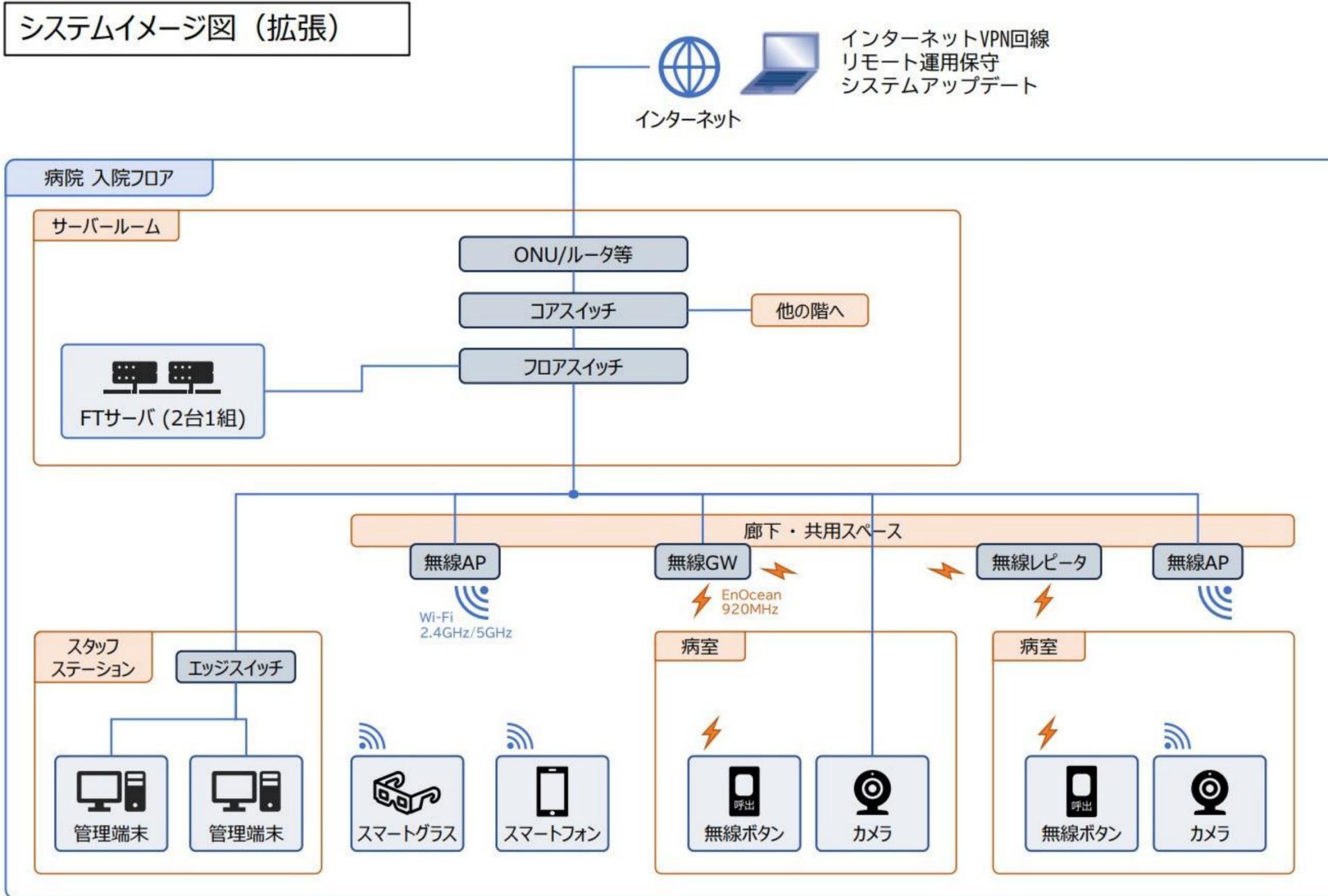
1 無線のボタン

- ・ 無線のため低コストで設置
- ・ 長寿命でメンテナンス不要
- ・ 独自回線により混線なし



ポイント

Wi-Fiとは違う920MHz帯を使用しているため混線の心配がなく、障害物にも強いので病院、施設での運用には相性◎



8. 『ウェアセーフ[®]』の機能追加

*1：2025年3月リリース

*2：プロトタイプを2025年7月頃予定

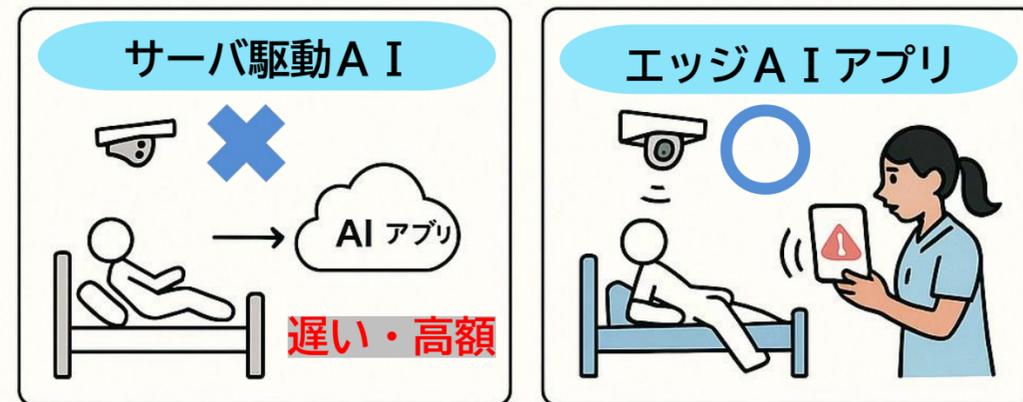
*3：プロトタイプを2025年12月頃予定

#	機能	ウェアセーフ	ウェアセーフ Ver. 2.0(*1)	ウェアセーフ Ver. 3.0(*2)
1	スマートグラス（ビデオチャット & カメラ映像確認）	○	○	○
2	カメラの映像共有（スマホ、タブレット、PC他）	○	○	○
3	カメラによる AI 姿勢検知（離床検知）	×	○	○
4	ナースコールボタン	×	○	○
5	管理者端末機能 （通知の一元管理、ステータス管理、発話、他）	×	○	○
6	赤外線人感センサ、ドアセンサ など	×	×	○
7	インカム（全ての通知を合成音声化）	×	×	○(*3)
8	カメラによる AI 姿勢検知（予兆検知、転倒検知他）録画	×	×	○
9	会話型AI、AIエージェントとの連携 （AWS HealthScribe , AI Dr. など検討中）	×	×	○(*3)

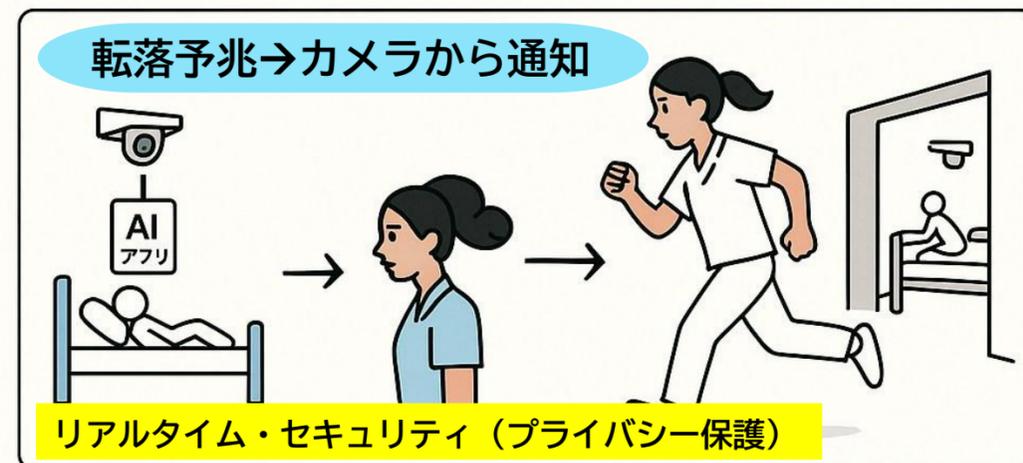
9. エッジAIの優位性について

エッジ・デバイス（本ケースはカメラ）内の
プロセッサ上でAI処理

映像データをカメラ内で処理する為、ネットワーク負荷を軽減



- 帯域効率 : 映像送信不要でネットワーク負荷軽減
- リアルタイム性 : 検知から通知までの時間を大幅短縮
- セキュリティ : 映像データを院内に留め、プライバシーを保護



例えば、「姿勢検知した通知」と「検知時のフレーム画像」のみ
配信することで、既存インフラにて全病室へカメラ設置も



転落事故の防止

10. 「エッジAIアプリ」 (名称未定)

- 対象カメラ：M1075-L、P3267-LV -->順次対象機種拡大
- ACS Pro (AXIS Camera Station Pro) との連携



転落予兆

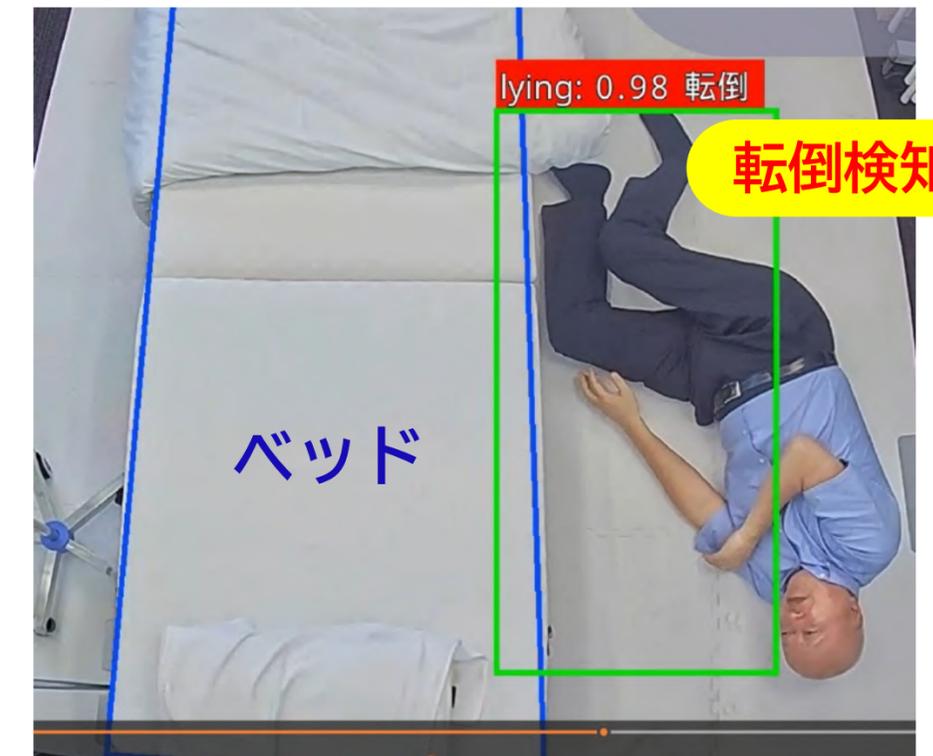
検知

転落事故の防止

- ベッド内の姿勢の推移から危険度を判断し通知
- カメラごとに通知する条件、閾値（リスク度合い）を設定変更可
- 転倒検知時に転倒前後の20秒（任意設定）を録画し転落原因、打撲部位を特定
- カメラごとに部屋番号・名前等を設定し通知に反映



[青枠：ベッド]



転倒

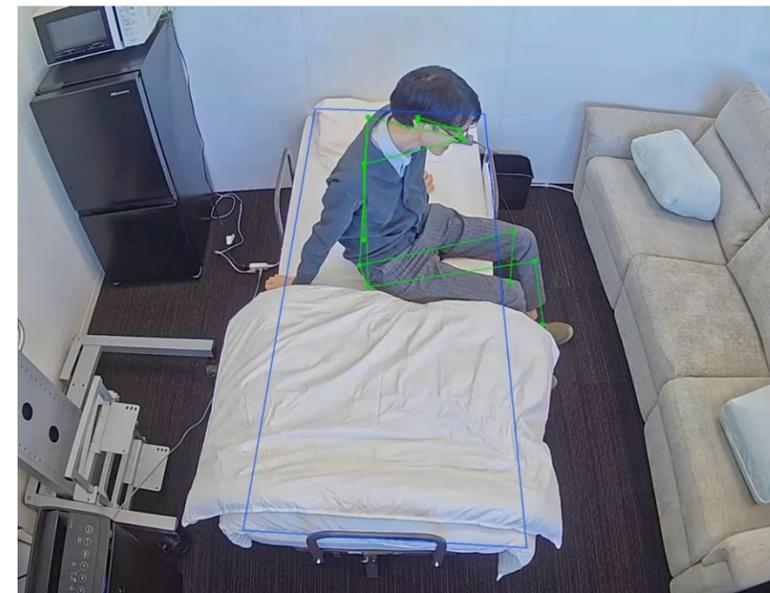
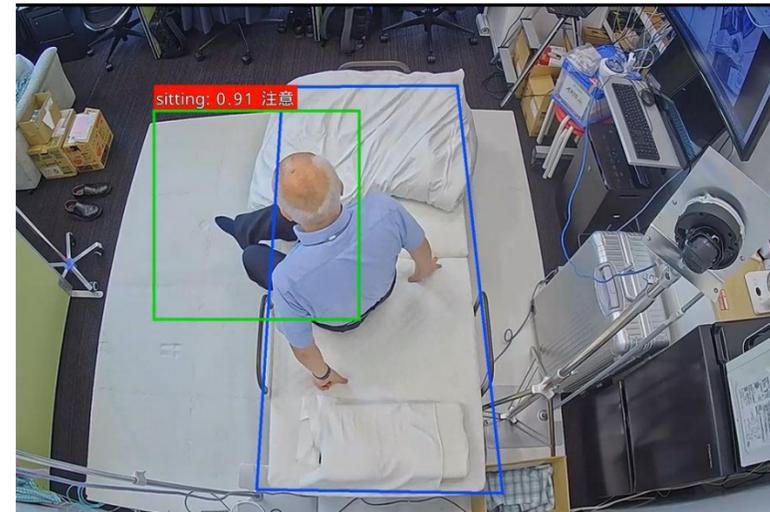
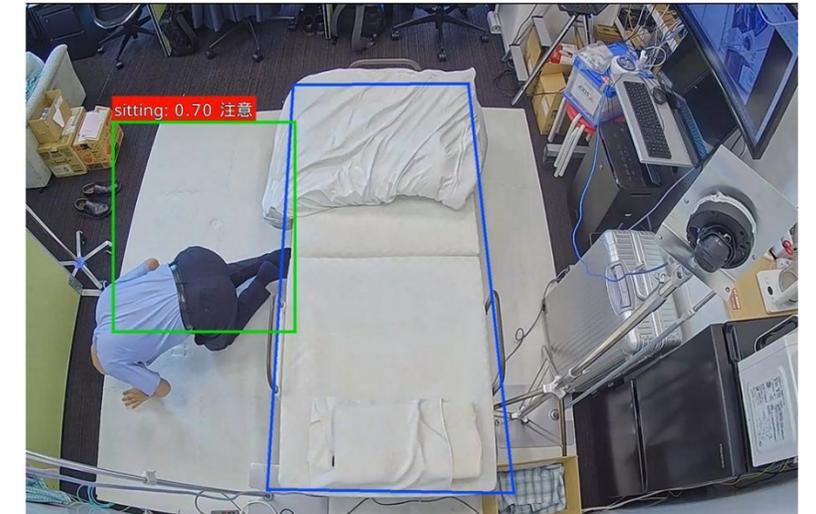
検知

離床

検知

離床センサーと比較し、高精度で
リモートでスマホから目視確認も可能

- 利用者ごとに通知条件を変更
- カメラにAIアプリを組み込み通知
- 立位、座位、臥位の姿勢を検知し危険と判断された場合に通知
- 赤外線対応カメラで暗所の見守りも◎



ウェアセーフ[®] 姿勢検知

standing: 0.97 正常

姿勢検知の動画をご覧ください

<https://smart-gate.co.jp/business/wearsafe/posture-detection/>

(2025年7月4日より順次掲載いたします)

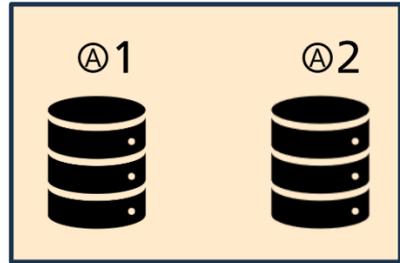


「次世代見守りソリューション」の構築費用概算

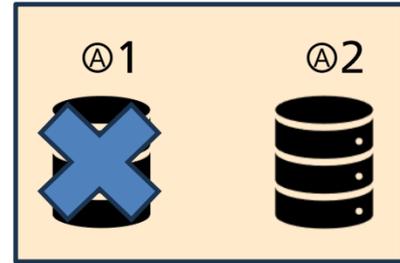
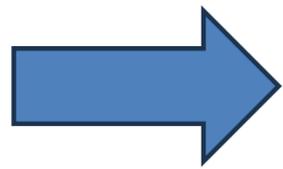
- ①サーバはF T構成とH A構成の2種類から
- ②ナースコール、赤外線人感センサー、ドアセンサー の選択肢
- ③カメラ、スマートグラス、端末 の選択肢

1.1. FT (Fault Tolerant) 構成 とHA (High Availability) 構成 から

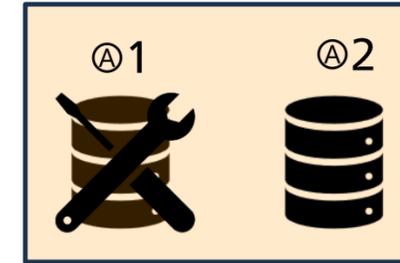
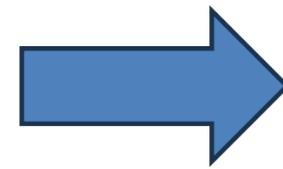
【FTサーバー】



・ 2台1組で完全二重化



・ A1が故障した場合、
A2に自動切換
・ ダウンタイムは0秒

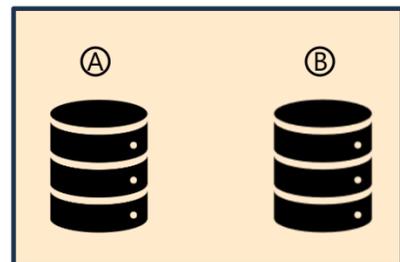


・ A1の故障部分を自動で特定
・ 故障部分を入れ替えるのみの迅速対応

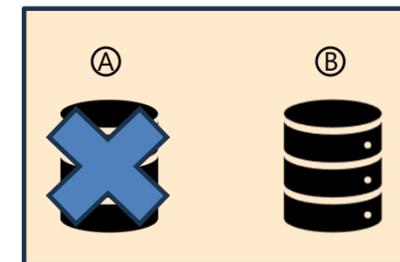
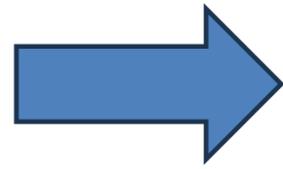


Stratus ztC Edge250i

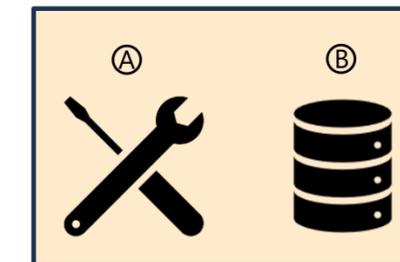
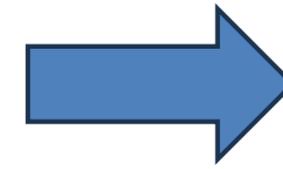
【HA構成】



・ 物理サーバーを2台準備
・ Bは同期をしつつ待機



・ Aが故障した場合、
Bに自動切換
・ ダウンタイムは数十秒

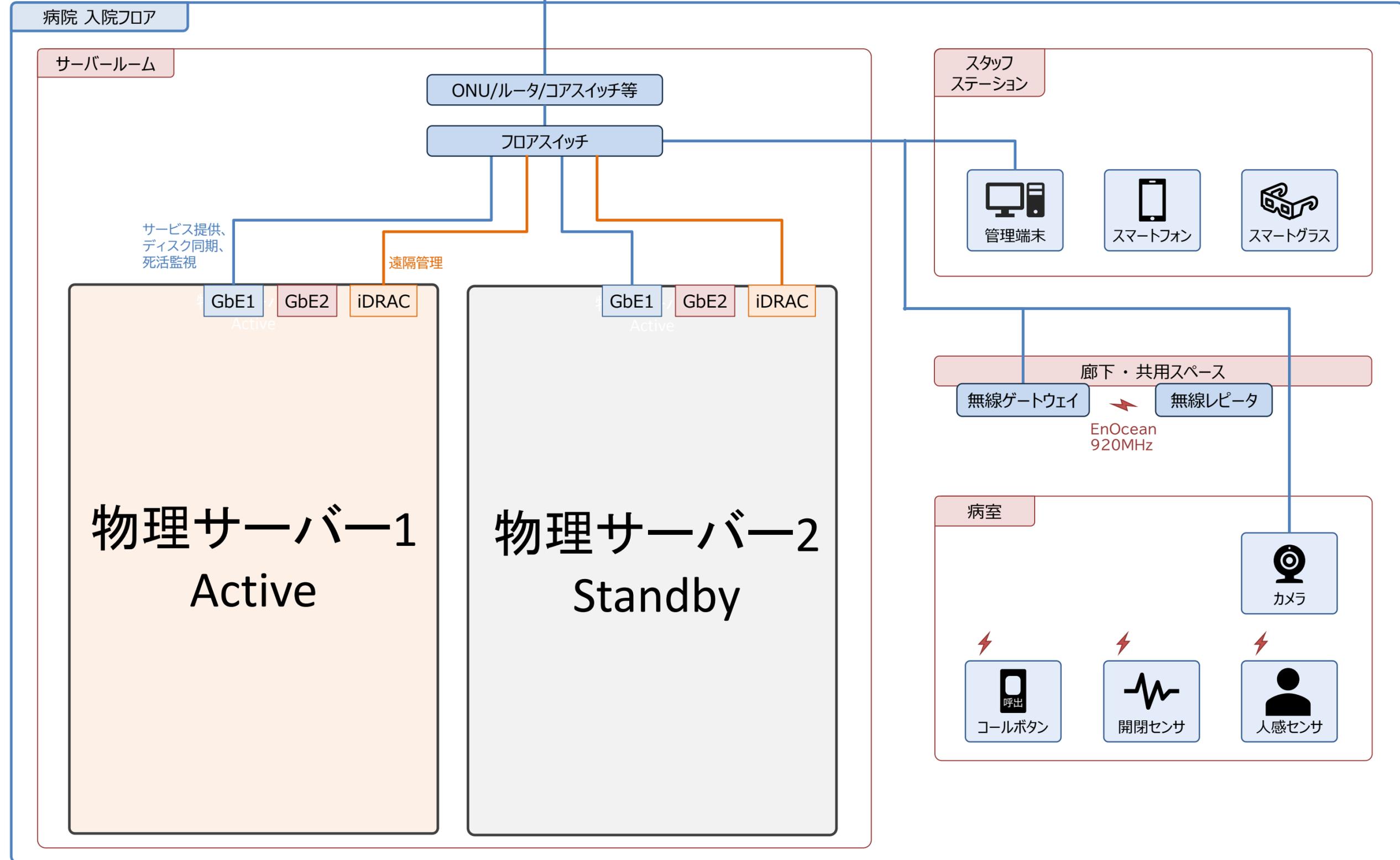


・ Aの故障部分を人力で特定
・ 特定して交換するまでの期間が
冗長化なしでの稼働
・ 復旧時には数分のダウンタイムが発生



DELL PowerEdge T160

WearSafe HA構成



1 2. 「次世代見守りソリューション」の構築費概算

(ナースコールのゲートウェイやレピータは含むが、その他フロアスイッチやAP等のネットワーク機器および工事費は含みません)

HA (High Availability) 構成

- サーバ費用 : 1,100,000円
- 1病棟 (NCのみ) : 3,840,000円
- 2病棟以降 (NCのみ) : 2,740,000円
- 1病棟 (カメラ他含む) : 5,700,000円
- 2病棟以降 (カメラ他) : 4,600,000円

FT (Fault Tolerant) 構成

- サーバ費用 : 4,000,000円
- 1病棟 (NCのみ) : 6,740,000円
- 2病棟以降 (NCのみ) : 2,740,000円
- 1病棟 (カメラ他含む) : 8,600,000円
- 2病棟以降 (カメラ他) : 4,600,000円

13. 「次世代見守りソリューション」の構築費概算-01

(ナースコールのゲートウェイやレピータは含むが、その他フロアスイッチやAP等のネットワーク機器および工事費は含みません)

機器リスト価格表（参考価格） HA構成_ボタンのみ 1病棟50床						
カテゴリ	機器	メーカー	型番	単価	数量	小計
ネットワーク	HAサーバ	DELL	PowerEdge T160 SmartSelection Flexi	¥550,000	2	¥1,100,000
	I0ゲートウェイ	アイテック	ERT-GT3	¥103,000	5	¥515,000
	レピーター	アイテック	EXT-REP	¥15,000	8	¥120,000
端末	ナースコールボタン（ペンダント）	アイテック	ETP-CAL-T3	¥23,000	50	¥1,150,000
	ナースコールボタン（壁掛け）	アイテック	ETW-CAL-T3	¥23,000	5	¥115,000
	人感センサー	アイテック	ETC-PIR-E2	¥23,000	0	¥0
	ドア開閉センサー	アイテック	ETB-OCS	¥23,000	0	¥0
	ネットワークカメラ	アクシス	AXIS M1075-L BOX Camera	¥50,000	0	¥0
	スマートグラス	Vuzix	M400	¥125,000	0	¥0
	モニター	シャープ	43インチタッチパネルモニタ	¥350,000	1	¥350,000
	クライアントPC	Lenovo	ThinkPad E16 Gen2	¥190,000	1	¥190,000
アプリ	ウェアセーフ	スマートゲート		¥300,000	1	¥300,000
合計（税別）						¥3,840,000

1.4. 「次世代見守りソリューション」の構築費概算-02

(ナースコールのゲートウェイやレピータは含むが、その他フロアスイッチやAP等のネットワーク機器および工事費は含みません)

機器リスト価格表 (参考価格) HA構成_カメラ他含む 1病棟50床						
カテゴリ	機器	メーカー	型番	単価	数量	小計
ネットワーク	HAサーバ	DELL	PowerEdge T160 SmartSelection Flexi	¥550,000	2	¥1,100,000
	I0ゲートウェイ	アイテック	ERT-GT3	¥103,000	5	¥515,000
	レピーター	アイテック	EXT-REP	¥15,000	8	¥120,000
端末	ナースコールボタン (ペンダント)	アイテック	ETP-CAL-T3	¥23,000	50	¥1,150,000
	ナースコールボタン (壁掛け)	アイテック	ETW-CAL-T3	¥23,000	5	¥115,000
	人感センサー	アイテック	ETC-PIR-E2	¥23,000	5	¥115,000
	ドア開閉センサー	アイテック	ETB-OCS	¥23,000	5	¥115,000
	ネットワークカメラ	アクシス	AXIS M1075-L BOX Camera	¥50,000	20	¥1,000,000
	スマートグラス	Vuzix	M400	¥125,000	5	¥625,000
	モニター	シャープ	43インチタッチパネルモニタ	¥350,000	1	¥350,000
	クライアントPC	Lenovo	ThinkPad E16 Gen2	¥190,000	1	¥190,000
アプリ	ウェアセーフ	スマートゲート	¥300,000	1	¥300,000	
合計 (税別)						¥5,695,000

15. 「次世代見守りソリューション」の構築費概算-03

(ナースコールのゲートウェイやレピータは含むが、その他フロアスイッチやAP等のネットワーク機器および工事費は含みません)

機器リスト価格表 (参考価格) FT構成_ボタンのみ 1病棟50床						
カテゴリ	機器	メーカー	型番	単価	数量	小計
ネットワーク	FTサーバ	ペンギンソリューションズ	ztC Edge 250i	¥4,000,000	1	¥4,000,000
	I0ゲートウェイ	アイテック	ERT-GT3	¥103,000	5	¥515,000
	レピーター	アイテック	EXT-REP	¥15,000	8	¥120,000
端末	ナースコールボタン (ペンダント)	アイテック	ETP-CAL-T3	¥23,000	50	¥1,150,000
	ナースコールボタン (壁掛け)	アイテック	ETW-CAL-T3	¥23,000	5	¥115,000
	人感センサー	アイテック	ETC-PIR-E2	¥23,000	0	¥0
	ドア開閉センサー	アイテック	ETB-OCS	¥23,000	0	¥0
	ネットワークカメラ	アクシス	AXIS M1075-L BOX Camera	¥50,000	0	¥0
	スマートグラス	Vuzix	M400	¥125,000	0	¥0
	モニター	シャープ	43インチタッチパネルモニタ	¥350,000	1	¥350,000
	クライアントPC	Lenovo	ThinkPad E16 Gen2	¥190,000	1	¥190,000
アプリ	ウェアセーフ	スマートゲート	¥300,000	1	¥300,000	
合計 (税別)						¥6,740,000

16. 「次世代見守りソリューション」の構築費概算-04

(ナースコールのゲートウェイやレピータは含むが、その他フロアスイッチやAP等のネットワーク機器および工事費は含みません)

機器リスト価格表（参考価格） FT構成_カメラ他含む 1病棟50床						
カテゴリ	機器	メーカー	型番	単価	数量	小計
ネットワーク	FTサーバ	ペンギンソリューションズ	ztC Edge 250i	¥4,000,000	1	¥4,000,000
	I0ゲートウェイ	アイテック	ERT-GT3	¥103,000	5	¥515,000
	レピーター	アイテック	EXT-REP	¥15,000	8	¥120,000
端末	ナースコールボタン（ペンダント）	アイテック	ETP-CAL-T3	¥23,000	50	¥1,150,000
	ナースコールボタン（壁掛け）	アイテック	ETW-CAL-T3	¥23,000	5	¥115,000
	人感センサー	アイテック	ETC-PIR-E2	¥23,000	5	¥115,000
	ドア開閉センサー	アイテック	ETB-OCS	¥23,000	5	¥115,000
	ネットワークカメラ	アクシス	AXIS M1075-L BOX Camera	¥50,000	20	¥1,000,000
	スマートグラス	Vuzix	M400	¥125,000	5	¥625,000
	モニター	シャープ	43インチタッチパネルモニタ	¥350,000	1	¥350,000
	クライアントPC	Lenovo	ThinkPad E16 Gen2	¥190,000	1	¥190,000
アプリ	ウェアセーフ	スマートゲート	¥300,000	1	¥300,000	
合計（税別）						¥8,595,000

17. 今後の機能追加



映像のテキスト化

カメラ映像をテキスト化し、要約したものを行動履歴としてまとめて保存



顔認証対応

顔認証によるドア開閉機能から徘徊検知機能の強化など



AI連携

AI Doc.などと連携
看護記録、診療録、など
SOAP形式他の記録から
自動化を進める



手話キャプチャ

カメラ映像から手話を判別し、テキスト化および合成音声として出力

18. 『ウェアセーフ®』 AI連携 音声入力から要約 ～ 申し送り不要へ(予定)

●AWS HealthScribe は話者の役割を自動的に識別し、会話を分類し、医学用語を抽出し、豊富な臨床記録とメモを生成します。患者と看護師／医師の会話から看護ノート／臨床ノートを自動作成することができます。また、看護師と患者との会話には元の診察記録の参照なども含むため、要約の正確性を容易に検証できる。また、参考文献を要約ノートとともに医師・看護師に共有することで信頼を育み現場でのAIの安全な使用を促進することが可能です。

出典：<https://aws.amazon.com/jp/healthscribe/>

AWS HealthScribe の機能

AWS HealthScribe は、ジェネレーティブ AI を使用して患者と医師の会話を書き起こし、要約します。これにより、文書化ではなく患者のケアにより多くの時間を割くことができます。

要約された臨床ノートを使用する

AWS HealthScribe は、相談内容を分析して、主訴内容、現在の病歴、評価、治療計画などのセクションの要約された臨床メモを作成します。これらの要約を臨床申請書に記載することで、臨床医や医療従事者が患者の診察の要点をすばやくまとめたり、臨床文書用のメモを確認、編集、仕上げたりするのに役立ちます。行動健康に関する GIRPP (目標、介入、対応、進捗、計画) テンプレートは AWS HealthScribe でも入手できます。

充実した相談記録の作成

AWS HealthScribe は、単語レベルのタイムスタンプが付いた充実したターンバイターンのトランスクリプトを提供します。AWS HealthScribe では、トランスクリプト内の会話ごとに、患者や臨床医などの話者の役割も特定されます。

エビデンスマッピングによるアウトプットの検証

AI が生成する臨床メモの各文には、元の診察記録への参照が含まれているため、ユーザーは要約の正確性を簡単に検証できます。AI が生成した洞察にトレーサビリティと透明性を提供することは、責任ある AI の説明可能性の原則と一致しています。参考文献を要約ノートとともに臨床医や記者に共有することで、信頼を育み、臨床現場での AI の安全な使用を促進できます。

構造化された医学用語を抽出

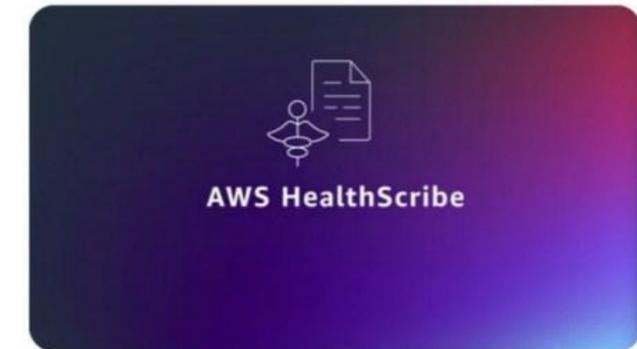
AWS HealthScribe は、会話の記録から、病状、投薬、治療などの構造化された医学用語を抽出します。これらの医学用語を臨床アプリケーションで使用すると、ユーザーにとって有益なワークフローの提案を生成できます。医学用語を使用して、アプリケーションのドロップダウンフォームに関連する読み物やエントリを自動的に提案できます。

セグメントトランスクリプト

AWS HealthScribe は、会話の臨床的関連性に基づいて、トランスクリプトの対話を世間話、主観的、客観的なカテゴリに分類します。その後、カテゴリを使用して、トランスクリプトの特定の部分を見つけるのに役立ちます。

HIPAA コンプライアンスの対象

AWS HealthScribe は、患者データのセキュリティとプライバシーを優先する HIPAA 対応のサービスです。このサービスでは、受信した音声や出力テキストは保持されません。また、データを使用して AI モデルをトレーニングすることはありません。トランスクリプトをローカル環境に保存するか、自己管理型のクラウドストレージに保存するかを完全に決定できます。



【参考資料】経営改善（リスク軽減）転倒・転落に於ける追加的医療費（病院＋施設）

項目	結果	出典元・参照データ
1.全病院の平均在院患者数	約112万人	●厚生労働省：2023年度調査結果 https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/23/dl/11gaikyo05.pdf
2.全病院の転倒・転落発生率	2.62%	●日本病院協会：「転倒・転落率」資料から2018年度（対象：全入院患者） https://www.ajha.or.jp/hms/outcome/bunseki_6.html?utm_source=chatgpt.com
3.全病院の転倒・転落事故(件数)	約3万件／日(約1,070万件／年)	1,120,000人×365日×2.62%≒10,700,000件
4.全病院のベッドサイドの転倒・転落事故(件数)	[全発生件数の58.4%] 約1.7万件／日 約630万件／年	●JA秋田厚生連大曲厚生医療センター：437床の急性期中心の病院の291件のインシデントレポートから研究報告 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjrm/68/4/68_510/_pdf レベル1(69件23.7%)、レベル2(202件69.4%) レベル3a(17件5.8%)、レベル3b(3件1.0%)
5.病院あたりのベッドサイドの転倒・転落事故(件数)	2.1件／日・病院 770件／年・病院	●厚生労働省 2023年度調査結果(病院数：8,122) https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/23/dl/11gaikyo05.pdf
6.転倒・転落事故における追加的医療費／入院患者(事故1件に保険適用される追加的医療費)	[最低想定]：約183億円／年 2,900円×630万件＝ [最高想定]：約630億円／年 10,000円×630万件＝ [中央値推定]：約406億円／年 6,450円×630万件＝	●聖マリア病院(1,354床)のインシデントレポート(2007-2009年の3年間、7,717件) --> 2,900円／件 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsha/48/3/48_3_157/_pdf レベル1(実害なし)：0円／(6,549件85%) レベル2(軽い打撲など)：10,070円／(824件10.7%) レベル3a(骨折等手術不要)：12,859円／(298件4.9%) レベル3b(骨折伴う重度治療)：226,723円／(46件0.6%) ●JA秋田厚生連大曲厚生医療センター(434床)(2019年の1年間、291件) --> 10,000円／件
7.主な高齢者施設の入所者数	合計173万人	●介護保険施設：93万人、有料老人ホーム：80万人(2022年)
8.高齢者施設の転倒・転落発生率	0.72%	●全国介護老人保健施設大会(令和6年、調査結果) https://pub.confita.atlas.jp/ja/event/roken2024/presentation/100203?utm_source=chatgpt.com
9.転倒・転落事故における追加的医療費／高齢施設入居者	[最低想定]：約130億円／年 2,900円×450万件＝ [最高想定]：約450億円／年 10,000円×450万件＝ [中央値推定]：約290億円／年 6,450円×450万件＝	施設のベッドサイドの転倒・転落事故(件数)： 173万人×0.72%×365日＝約450万件／年 *個別インシデントのレベルの割合と追加的医療費の情報は整備されていない為、病院のデータを参考にした。
10.転倒・転落に於ける追加的医療費合計(病院＋施設)	[最低想定]：183億円＋130億円＝約310億円／年 [最高想定]：630億円＋450億円＝約1,080億円／年 [中央値推定]：406億円＋290億円＝約700億円／年	--> 20%削減するだけで約140億円/年の削減可能

「A I アプリ」の受託開発

- ・ 本件の対象カメラ以外への適用や、異なる用途への適用



株式会社スマートゲート

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目1-1 飯野ビル9階クロスオフィス903

代表：03-6661-6805

サービス：

- ・オンライン診療システム「スマートキュア SmartCure®」
- ・次世代見守りシステム「ウェアセーフ WareSafe®」(2024.10～)
- ・医療機関ホームページ制作

お問い合わせウェブサイト : <https://smart-gate.co.jp/contact/direct.support@smart-gate.co.jp>

お問い合わせ窓口 : 03-6661-6973 (金子一馬 (カズマ)、花谷)

ホームページ : <https://smart-gate.co.jp/>



お問い合わせは
こちらから